



Ben Hur

(米、124分、9月1日公開)



あらすじ

時はJesus Christus (Rodrigo Santoro)の生きていた頃、ローマ帝国支配時代。ユダヤの王族の息子Judah Ben-Hur (Jack Huston)と、ローマ人の息子Messala(Toby Kebbell)は本当の兄弟のように過ごしてきた。しかし兵士となるためにローマへ旅立ったMessalaは数年後、まるで別人のようになっていた。軍隊を引き連れたMessalaは、ローマ帝国に反抗する者を引き渡すようBen-Hurに要求するが、Ben-Hurがそれを拒むと、かつての兄弟であり大親友だったはずのBen-Hurを奴隷の身分におとしめ、家族同様だった人々も捕らえさせてしまう。総督暗殺を企てた罪人としてガレー船に送り込まれたBen-Hurだが、復讐に燃える思いを糧になんとか生き残る。やがてアラブの族長 Ilderim(Morgan Freeman)と出会ったBen-Hurは、彼の後ろ盾で戦車の騎手となり円形競技場でMessalaと対峙するが…。



ベンハーってこんな話だったのか! (?) の一言ですね。

1959年にWilliam Wyler 監督、Charlton Heston 主演で映画化された際は、11部門でオスカーを受賞。その3時間45分の物語を、今回は2時間にまとめるとは、いやはや何んとも。もっとも長ければ良いってもんでもないですけどね。

題名は知っているけれど中身は知らない、と仰る方にはイケるかも知れない、その一方で、1959年版をお好みの方は気をつけたほうが賢明、な1本です。

2016年度版の見所はMorgan Freemanにつきる、と思われます。

と、今回はここまで。次回作もお楽しみに。

